



▲明日で過ごした3年間をふり返りつつ在校生へエールを送った木幡さん

3 / 1

明るい明日へ向かい明日を巣立つ

北海道登別明日中等教育学校 卒業証書授与式

3月1日(月)、北海道登別明日中等教育学校で『第1回卒業証書授与式』が行われ、平成19年4月の開校から、同校の礎を築いた78人が学舎を巣立ちました。

はじめに菅原行彦校長が一人一人に卒業証書を手渡し「開校から3年間、本校の明日を創り続けた皆さんに『おめでとう』と『ありがとう』の言葉を贈りたい」と式辞を述べ、また、送辞では「開校から、試行錯誤をしながら未来を切り開いた皆さんが卒業するのは寂しい」と5回生の尾形翔輝さんが思いを述べました。これに答え、木幡雄一郎さんから「明日の歴史は続く、明日生として誇りをもつて新しい歴史を創ってほしい」と卒業生を代表しエールを送りました。

最後の校歌斉唱には、大黒摩季さんがサプライズゲストとして登場。自ら作詞・作曲した校歌を生徒とともに歌いました。

3 / 5

市内にこんな生き物がいるんだ 市内の貴重野生生物を紹介するホームページを公開

3月5日(金)、市内に生息するといわれている野生生物の貴重種を紹介するホームページ『登別のめぐらしいいきもの』を市と登別市環境保全市民会議と協働で作成し公開しました。

作成に当たった登別市環境保全市民会議の仲川弘誓会長は「登別市は、海と平地と山があり、貴重な野生生物が多く生息できる環境です。このホームページをご覧になって、身近なところにいる貴重な生き物を大切にする心をはぐくみ、登別市がいつまでも自然豊かなまちであり続けることができることを願っています」と話していました。

ホームページは市ホームページ画面左側の『登別市の情報』の『貴重種の紹介コーナー』をクリックするとご覧になります。



▲市内の貴重野生生物の紹介ホームページ ※学校や団体などで使用する場合には、CD-ROMでの貸し出しも行っています。

3 / 7

登別市の市民自治を探る

第3回登別市民自治フォーラム



◀『創るも使うも市民が主役 一自治基本条例』をテーマに講演された内仲英輔さん

▼ワークショップでは、これからの登別について熱く議論が交わされました



3月7日(日)、市民会館で『第3回登別市民自治フォーラム』(登別市民自治推進委員会主催、市共催)が開催され約70人が参加しました。今年で3回目を迎えるこのフォーラムには、講師に東京都三鷹市で『自治基本条例をつくるみたか市民の会』の世話人として条例の策定にかかわったジャーナリストの内仲英輔さんを迎え、自治基本条例とはなにか、なぜ自治基本条例か、市民が生み出した東京・三鷹の自治基本条例、条例成立後の市民の役割などについて講演がありました。

その中で、内仲さんは、「自治基本条例は地方自治体の憲法であり市民が主権者である」と定義し、また、「策定を進める中で市民団体は行政に要求するだけでなく、研究体や運動体としての活動を強めた」など制定までの経緯や、その後の市民の様子などについて詳しく話されました。

また、講演後のワークショップでは、市民自治の在り方や今後の方向性について、多くの方からさまざまな意見が発表されるなど、これから目指すべき登別の姿について活発な議論がなされました。